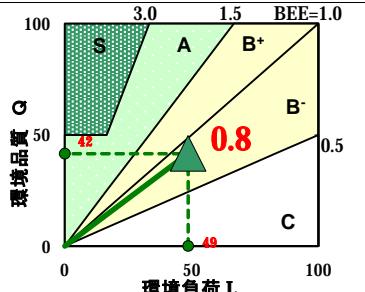
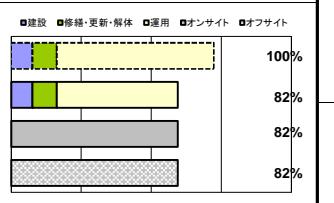
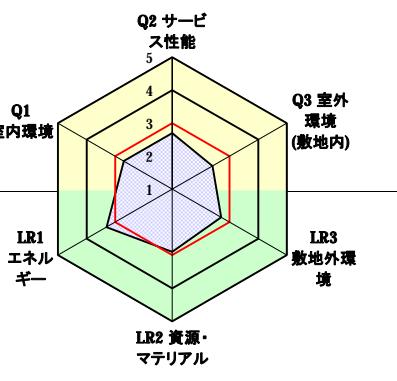
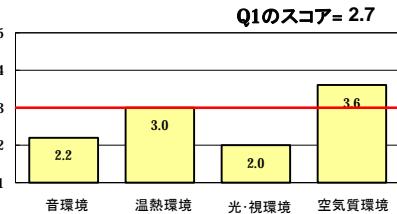
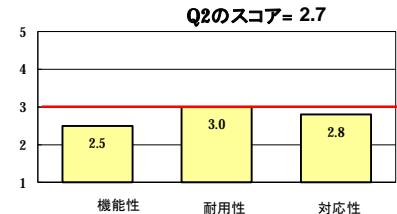
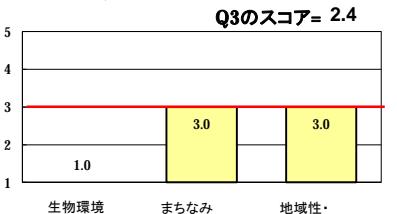
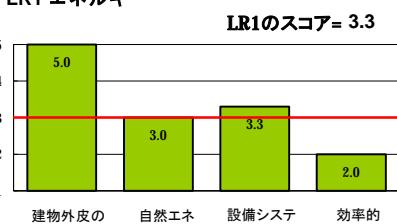
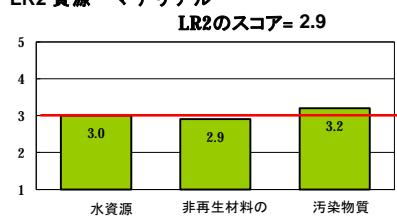
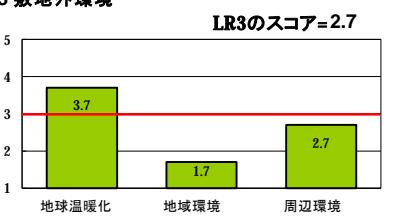


CASBEE®-建築(新築)

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観			
建物名称	西安威ビル	階数	地上3F		
建設地	大阪府茨木市西安威	構造	S造		
用途地域	第二種住居地域	平均居住人員	48 人		
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)		
建物用途	事務所,	評価の段階	実施設計段階評価		
竣工年	2027年12月 予定	評価の実施日	2025年9月24日		
敷地面積	33,009 m ²	作成者	松浦 裕己		
建築面積	9,365 m ²	確認日	2025年9月24日		
延床面積	20,415 m ²	確認者	松浦 裕己		
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)		2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)			
BEE = 0.8  S: ★★★★★ A: ★★★★ B+: ★★★ B: ★★ C: ★		 30% ★★★★★ 60% ★★★★ 80% ★★★ 100% ★★ 100%超: ★			
 BEE=1.0 S: 3.0 A: 1.5 B+: 0.8 B: 0.5 C: 0.0 環境品質 Q 環境負荷 L		標準計算  このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフケーブルCO2排出量の目安で示したもので			
2-3 大項目の評価(レーダーチャート)		 Q2 サービス性能 Q1 室内環境 Q3 室外環境(敷地内) LR1 エネルギー LR2 資源・マテリアル LR3 敷地外環境			
2-4 中項目の評価(バーチャート)					
Q 環境品質 Q1 室内環境  Q1のスコア = 2.7 音環境 2.2 温熱環境 3.0 光・視環境 2.0 空気質環境 3.6		Q2 サービス性能  Q2のスコア = 2.7 機能性 2.5 耐用性 3.0 対応性 2.8			
Q3 室外環境(敷地内)  Q3のスコア = 2.4 生物環境 1.0 まちなみ 3.0 地域性 3.0					
LR 環境負荷低減性 LR1 エネルギー  LR1のスコア = 3.3 建物外皮の 5.0 自然エネ 3.0 設備シス 3.3 効率的 2.0		LR2 資源・マテリアル  LR2のスコア = 2.9 水資源 3.0 非再生材料の 2.9 汚染物質 3.2			
LR3 敷地外環境  LR3のスコア = 2.7 地球温暖化 3.7 地域環境 1.7 周辺環境 2.7					
3 設計上の配慮事項					
総合 住宅街に建つ低層のデータセンターが街に溶け込むように配慮した外装計画 (外装の色の調和・建物ボリュームの軽減・開口部の調整) 広場空地を災害時の避難場所として提供する					
Q1 室内環境 最適な空調設備計画、照明計画等にもより、快適な室内環境をつくりあげる。		Q2 サービス性能 来訪者のゾーンとサービスゾーンを明確に分けることで、快適で最適なサービスの提供ができるように配慮している。またセキュリティ的に安全なサービスが提供できるようセキュリティラインを明確にする等のセキュリティ計画			
LR1 エネルギー 屋上部分に断熱材を使用し、エネルギー効率を良くする計画としました。		LR2 資源・マテリアル ガス消火設備はN2消火設備を採用している。			
Q3 室外環境(敷地内) 境界からの後退距離を確保している。空地を確保し道路からの圧迫感の低減等、周辺環境に配慮している。		LR3 敷地外環境 外周の柵や門扉などにより歩行者の安全性に配慮している。また視認性・通風の良好なフェンスとすることで、快適性にも配慮している。			
その他 特になし					

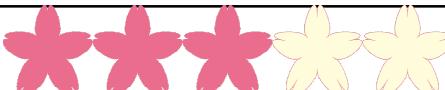
■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフケーブルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフケーブルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府の重点評価(結果)

Osakafu-新築・既存 2024V1.4

【建物概要】 建物名称		西安威ビル				
建設地		大阪府茨木市西安威				
用途／区分		事務所				
【評価結果】	CASBEE 総合評価				B-	
①	CO2削減				4	
②	みどり・ヒート アイランド対策				2	
③	断熱性能				5	
	建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分	評価対象外			評価対象外
④	エネルギー消費性能				3	
	建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分	評価対象外			評価対象外
⑤	自然エネルギー直接利用					
	再生可能エネルギー	太陽光発電	—	風力	—	地熱
	利用施設の導入状況	太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス
エネルギー消費量の報告						報告しない
【評価項目】						
項目	評価内容					スコア
① CO2削減	CASBEE LR3 敷地外環境 1. 地球温暖化への配慮					3.7
② みどり・ヒートアイランド対策						4
生物環境の保全と創出	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 1. 生物環境の保全と創出					1.0
敷地内温熱環境の向上	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 3.2 敷地内温熱環境の向上					3.0
温熱環境悪化の改善	CASBEE LR3 敷地外環 2.2 温熱環境悪化の改善					1.0
③ 断熱性能	CASBEE LR1 エネルギー 1. 建物外皮の熱負荷抑制					5.0
④ エネルギー消費性能	CASBEE LR1 エネルギー 3. 設備システムの効率化					3.3
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE LR1 エネルギー 2. 自然エネルギー利用					3.0
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。					報告する 報告しない
その他						
先進的技術の導入			技術の名称		考慮事項	
特に配慮した事項						